

## 第三者割当増資による資金調達実施のお知らせ

マイキャン・テクノロジーズ株式会社（本社：京都府京都市、代表取締役：宮崎 和雄）は、KUC1号投資事業有限責任組合無限責任組合員 SBI 大学発ベンチャー育成支援株式会社（東京都港区、代表取締役 後藤 健）より募集新株発行による資金調達を実施しました。

現在、動物愛護並びに再生医療等製品など新規モダリティの品質管理等の面から、従来のウサギ発熱性物質試験の代替法として、ヒト単球細胞株等を使用した発熱性物質試験（MAT 試験）が注目されています。

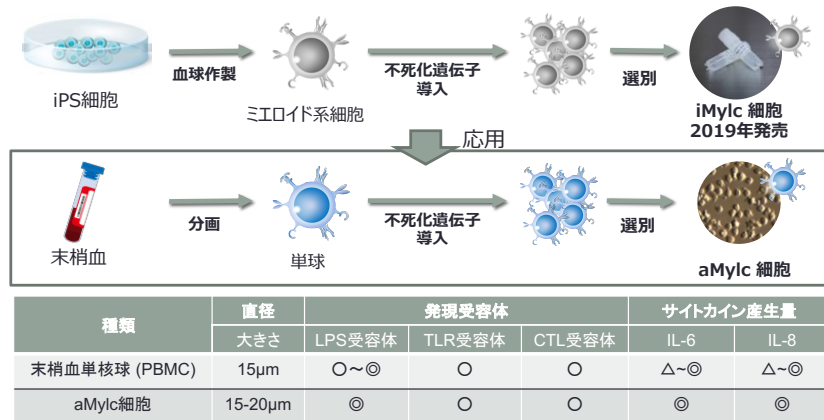
当社は、独自の不死化血球細胞作製技術を活用し、発熱性物質試験に特化した不死化単球細胞(aMylc細胞)の作製に成功し、aMylc細胞を用いた発熱性物質試験(MylcMAT<sup>®</sup>)を開発してまいりました。本増資により、国内および欧州での発売準備および供給体制構築を加速いたします。

また当社は今回の資金調達を活用し、MylcMATの次の製品として位置付けているMylc細胞を使用したウイルス感染症検査について開発を加速させてまいります。特に Dengue 熱は東南アジア・中南米を中心にますます感染者が多くなってきております。このようなウイルス感染症に対し、Mylc細胞を活用した検査キットを開発し、世界の健康に貢献してまいります。

### ■ aMylc細胞について

当社は再生医療技術を用いて、2019年にヒトiPS細胞由来不死化ミエロイド系細胞(iMylc細胞)の開発に成功しました(ミエロイド系細胞とは、単球、マクロファージ、樹状細胞などが含まれる白血球の1つ)。不死化技術により、従来大量入手が難しいミエロイド系細胞を、安定的・継続的に供給することが可能です。

当社では本技術を活用し、新たに不死化単球細胞(aMylc)の開発に成功しました。このaMylc細胞は、ヒト単球細胞に極めて近く、また末梢血単核球(PBMC)を使用したトール様受容体(TLR)反応性比較においても、同程度のサイトカイン産性能を示します。



### ■ MylcMAT®について

aMylc細胞を使用し、新規MAT試験製品(MylcMAT®)として研究用に試験提供を開始しております。MAT試験は、ウサギ発熱性物質試験の代替法として、世界で局方収載されてきています。既に欧州・インド等で収載された試験法であり、国内でも次回改正でMAT試験の収載のに向けた動きがあります。



### ■ Mylc-SRIPについて

当社のiPS細胞由来不死化ミエロイド系細胞(iMylc細胞)を使用し、感染症の重症化予測検査キットの開発を進めております。白血球系細胞へのウイルスの侵入しやすさ(感染増強)をMylc細胞と一回感染性ウイルス粒子(SRIPs)を使用して測定する検査です。Mylc-SRIPは、世界初となる細胞を使用した検査として東南アジアで臨床研究を進めております。

### ■ 当社について

当社は2016年の設立以来、独自の不死化血球作製技術を活用した研究用血球細胞(Mpv, Mylc)の提供を通じ、治療薬・ワクチン開発を支援してきました。MylcMAT®製品の供給およびMylc-SRIP事業開発を実施することで「感染症に怯えず暮らせる社会」実現にむけ、一層貢献をしていきます。

《本件に関するお問い合わせ》

マイキャン・テクノロジーズ株式会社

〒615-8245 京都府京都市西京区御陵大原 1-36 京大桂ベンチャープラザ 担当：伏原

【Tel】 075-381-3008 【E-mail】 [info2@micantechnologies.com](mailto:info2@micantechnologies.com)

【URL】 <https://www.micantechnologies.com>